

38. 静岡県農村における栄養調査並びに栄養知識

調査

静岡女子短大 御宿 節子
蒔田 和子

1. 昭和34年6月静岡県の二箇所の農村の栄養調査並びに栄養知識の調査を行った。近年我々の食生活の向上はめざましく変化しつつあるが、果して農村に於ては食改善ほどの程度に行われまた農業改良普及員等に於ける栄養指導によって各自の栄養知識がどの様に高まってきているかを調査する目的で行われた。

2. 調査方法は国民栄養調査の様式にもとづき行った。a 栄養摂取状況調査，調査期日を3日間とし世帯票食物摂取状況記入票を各世帯に配布し3日間に摂取した食品全部を記入させた。b 身体状況調査，栄養欠陥調査を摂取栄養調査を行った世帯全員を対象として行った。c 栄養知識調査，調査した部落の主婦に所定の用紙を配布し常識的な栄養知識について質問し栄養指導の普及如何を調査した。

3. 成果としては調査方法が比較的であったので二つの農村の食生活の方向を正しく把握する事ができた。県下においても比較的協力的な農村を選定して調査したのであるが意外に栄養摂取の状況が低調で国民栄養調査にあらわれた平均成績及び静岡県平均に比しても非常に低い事が判明し栄養知識も想像以上に程度が低く，農村における栄養指導の普及のまだまだ程遠い事を痛感した。